

平成28年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小川晃
全体計画	平成28年度 ~ 平成30年度			経費区分	実施計画事業費			内線	3622		
事務事業名	10721 文化施設整備事業										
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課										
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100610 教育費・社会教育費・文化施設管理費									
	事業	020000 文化施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
文化会館メセナホール等の文化施設の改修、修繕を進める。						文化会館メセナホール等の文化施設の改修、修繕を進めると共に、建築から20年前後を経過するため、大規模改修について検討を進める。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
・メセナホール吸収冷温水機（R-2号機）修繕	メセナホールトイレ洋式化工事
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		0	26,800
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	26,800
	その他	0	0
一般財源		0	0
人員数(人)	正規職員	0.2	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,441.6	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,441.6	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.5
総額		1,441.6	26,800.0

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,000	設計業務委託料
15節 工事請負費	25,800	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	予備避難施設であるメセナホールのトイレ洋式化を実施	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	予備避難施設であるメセナホールのトイレ洋式化を実施	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	各文化芸術施設の老朽化を踏まえた、今後の対応方法を検討	

振り返り（決算年度の取組み課題）

空調設備について修繕を行ったが、抜本的な修繕には至っていない。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
財源を確保し、施設使用に支障がないよう修繕を行っていく。		施設の老朽化等により、計画的な修繕に取り組んでいる。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	